

2009年2月7日全国ロードショー SDP初の配給作品映画「余命」の原作
ベストセラー作家 谷村志穂の感動長篇「余命」が文庫に！
全国書店にて発売開始！

大手芸能プロダクション、スターダストプロモーションのグループ会社、株式会社SDP（スターダストピクチャーズ）が初めて配給を行う映画作品『余命』の原作本・同名「余命」（谷村志穂・著）が、株式会社 新潮社より、文庫本となって全国の書店にて好評発売中です。

本書は、「結婚しないかもしれない症候群」「海猫」など数々のベストセラーを生み出した人気作家、谷村志穂による書き下ろし小説で、上製本として2006年5月30日に発売され、そしてこの度、松雪泰子・椎名桔平の主演で映画化が決定。映画「余命」の2009年2月7日全国ロードショーに先がけ、文庫としてリリースします。

結婚10年目にして妊娠したものの、同時に乳がんが再発した主人公、滴。子供をあきらめ治療に専念するか、がんの進行を早めることになって子供を生むか。外科医として病を知り尽くした滴に苦渋の決断が迫られる。命あるものすべてを抱きしめたいくなる感動長篇です。

【書籍概要】

タイトル:「余命」

著者 :谷村志穂

発行 :新潮社

定価 :460円

発売日 :2008年12月1日(月)



〈著者プロフィール〉

谷村志穂（たにむら しほ）

1962年10月29日北海道札幌市生まれ。北海道大学農学部にて応用動物学を専攻し、修了。

1991年に処女小説『アクアリウムの鯨』（八曜社／角川文庫）を刊行し、自然、旅、性などの題材をモチーフに数々の長編・短編小説を執筆。紀行、エッセイ、訳書なども手掛ける。

2003年、郷里の北海道を舞台に描いた『海猫』（新潮社）が第10回島清恋愛文学賞を受賞。文庫版『海猫』（新潮文庫／上下巻）は2004年秋に刊行され、50万部を越えるベストセラーとなっている。

その他の主な著作に『十四歳のエンゲージ』、『眠らない瞳』、『ナチュラル』、『シュークリアの海』、『レッスンスズ』などがある。近著は『みにくいあひる』（文藝春秋）、『ムーヴ』（実業之日本社）、『フラワーズ』（角川春樹事務所）など。最新刊は短編小説集『冷たい水と、砂の記憶』（河出書房新社より9/20刊行）。また、文庫オリジナル作品の掌編集『恋のいろ』、『愛のいろ』の二冊を集英社文庫より7月、8月にそれぞれ発表した。

SHIHO'S HOUSE（パーソナル・ホームページ）

<http://www.shiho-net.org>

映画「余命」について

原作は人気作家・谷村志穂の同名小説。その繊細なストーリーラインと深みのあるキャラクターを、『手紙』の名匠、生野慈朗監督が満を持して映画化。

生死の究極な決断に迫られる難しい役を演じたのは、「フラガール」で日本アカデミー賞優秀主演女優賞などを受賞、舞台「キャバレー」ではダンスや歌も披露し、女優として常に挑戦し続けている松雪泰子。

その夫を演じたのは、来年公開予定の映画「レイン・フォール／雨の牙」では主演を務める椎名桔平。

一人の女性の生き様を通して、命の大切さや尊さ、そして生きる希望を描く感動のヒューマンドラマがここに誕生。

2008年10月、東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門に出品し話題を集めた。

～ストーリー～

敏腕外科医・百田滴（松雪泰子）は結婚10年目に妊娠が発覚。過去に乳がんを患い、子供を授かることを期待していなかっただけに、カメラマンの夫・良介（椎名桔平）と至福の時間を味わう。しかし喜びもつかの間、右胸に違和感を持った滴は、自己診断の結果、全身性の乳がん再発。

出産は38歳の滴にとって最後のチャンス。しかし産んだところで自分は育てられない。子供を諦めて治療に専念すべきか、ガンの進行を早めことになって子供を生むか、病を知り尽くした滴は苦渋の決断を迫られる……。

想像を絶する葛藤、挫折、そして決心。切なく儂い人生、それでも希望に満ちたエンディングに、きっと涙は零れ落ちる。

「余命」作品概要

作品名 : 「余命」

www.yomei-love.com

原作 : 谷村志穂「余命」(新潮社文庫刊)

監督 : 生野慈朗

出演 : 松雪泰子、椎名桔平、林遣都 他

脚本 : 河原れん、生野慈朗

主題歌 : 『Get A Life ~Again~』twenty4-7 (rhythm zone)

制作プロダクション : ビーワイルド

製作 : 「余命」製作委員会

配給 : 株式会社SDP

2009年2月7日 新宿バルト9、丸の内TOEI 他全国ロードショー

余命



「余命」イメージカット